

# 起業の軌跡

は「コースが拡大している業界だからこそ主体的に考え、攻める姿勢が重要だ」と強調する。

「最優先で進めてほしい」と東日本大震災直後に技術開発チームに特命事項を

住宅用地の地盤調査・改良を手がけるサムシングホールディングス(HD)。独自技術が全国の工務店や大手住宅メーカーから支持され、堅調に業績を伸ばしてきた。創業社長の前俊守

## 住宅用地の地盤調査・改良を効率化

### スピード感 最重視



前俊守社長  
天社(1989年)設立。46歳  
・しもり(1989年)設立。46歳  
・と元(1989年)設立。46歳  
・まえ(1989年)設立。46歳

サムシングHD

前俊守社長

与え、およそ半年で新型の掘削試験にかかる時間を掘削試験機をつくらせた。と調査費を半減させた。掘削試験機をつくらせた。と調査費を半減させた。掘削試験機をつくらせた。と調査費を半減させた。

「一生に一度の買い物。大切な財産を守る」という信念が実を結んだ。液状化関連以外にも建物の傾きを直す沈下修正など、地盤の状況に応じて様々な技術の中から適切な工法を提案する。調査や工事の信頼性、コスト競争力を売りに市場で先手を打つ。「スピード感が最も大切」と言い切る。自らは「自分でできるのは体力だけ」と語り、周囲は口をそろえて前を「話ばかり聞いて聞かぬが、決断は速い」と評する。千田の工事代金が回収できず、事業に陥った。

資力に奔走し、どうにかおぼろげに工務店への直接営業に切り替え、会社の知名度こそ低かったが、それまでの工務店が口コミで伝わって顧客に事業拡大への大きな転機でもあった。

今年、中核事業会社サムシングの社長職を後進に委ねた。自身は海外など新規事業の开拓に専念する考えだ。創業1年目の2013年12月期の連結売上高は節目の100億円を超え、見込みが、もう少し早く達成はしたかった」と決して満足はしていない。

敬称略 (比奈田悠佐)

(比奈田悠佐)